札幌みらい塾 2026
ACF アートサロン in カナモトホール

歌人 山田航 スペシャルトーク

私選 北海道百人一首

2026年12月3日(木)
開場 18:00 ／開演 18:30
<終了予定 20:30>

カナモトホール（札幌市民ホール）2階会議室 1-2
札幌市中央区北1条西1丁目

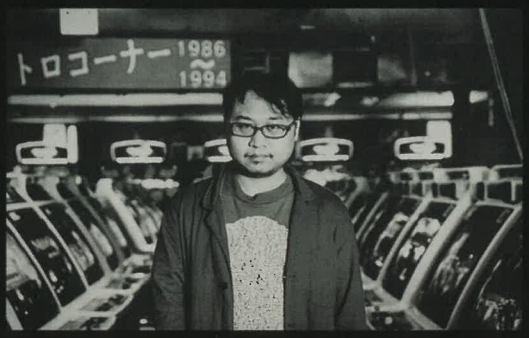
一般 2,000円／ ACF 会員・学生・V-net 会員 1,000円

お問合せ・申込み：ACF 札幌芸術文化フォーラム
URL | https://sapporoacf.net
メール | sapporoacf@gmail.com
電話 | 090-3110-6575（有田）

主催：ACF 札幌芸術文化フォーラム／大和リース（株）
後援：札幌市、札幌市教育員会、北海道新聞社、V-net 札幌アートボランティアネットワーク

本邦初公開！山田航・作「北海道百人一首」！

北海道新聞で連載中の「新・北のうた暦（ごよみ）」で紹介した歌を中心に、山田さん独自の視点で現在制作中の「北海道の百人一首」、この試みを手がかりに「北海道の文学とは何か」を考察します。
山田さんと短歌との出会いからこれまでの歩み、近年の若者を中心とした短歌ブーム、さらには、北海道新聞で連載中の「北海道零景」についてなど、幅広く語っていただきます。



講師：山田航

1983年札幌市生まれ。南区在住。2009年角川短歌賞および現代短歌評論賞受賞。歌集に『さよならバグ・チルドレン』『水に沈む羊』『寂しさでしか殺せない最強のうさぎ』』。編著に『桜前線開架宣言』。近著に『前田夕暮の百首』。北海道新聞に「札幌零景」を連載中。



後半・対談ゲスト：樋口智子

1976年生まれ。りとむ短歌会所属。2006年、第17回歌壇賞、2009年、歌集『つきさっぷ』で第15回日本歌人クラブ新人賞、第24回北海道新聞短歌賞佳作を受賞。他の著書に『幾つかは星』。2021年より、北海道新聞「新・北のうた暦」短歌選者に加わる。現在、道新文化センターで短歌講座を開講中。



司会：屋木志都子

札幌市出身。ラジオ番組出演や、イベントなどでの司会を行う。空手初段、書道五段、ペン字七段のほか、舞台俳優としても活躍中。

短歌とは

五・七・五・七・七の３１音で、日々の出来事や心の動きなどを表現する、日本の伝統的な詩のこと。俳句と違い、季語を入れる決まりはなく、恋愛や家族のこと、日常の何気ない出来事など、さまざまなテーマを自由に詠むことができる。

うろこ雲いろづくまでを見届けて私服の君を改札で待つ
山田航『さよならバグ・チルドレン』

風がさらふ雪を見ながら抱き合ったdocomoショップの光を浴びて
山田航『さよならバグ・チルドレン』

ゴミ袋抱えて非常階段をメイドが下るススキノ0時
山田航『寂しさでしか殺せない最強のうさぎ』

街路樹の影の縞目に濡れながら色深みゆく黒髪の黒
樋口智子『幾つかは星』

白樺の樹皮がめくれているあたり　はつなつの風生まれているよ
樋口智子『つきさっぷ』

湿りたる松ぼっくりを蹴りながらつまらぬ意地の向こうへ行きたい
樋口智子『幾つかは星』

札幌みらい塾 ACF アートサロンとは

ACF札幌芸術文化フォーラムと札幌市民ホールを運営する大和リース（株）がタッグを組んでお届けする、トークを中心とした市民のサロン。世界を包むアートの旬なテーマを切り取り、旬なゲストをお迎えして講演会を開催している。札幌だけでなく、国内外のアーティスト、研究者、社会活動家、行政、企業のフロントランナーと協働しておこなう、トークイベント。

